

業務継続計画

法人名	特定非営利法人 長崎学舎	種別	放課後等デイサービス
代表者	宮崎桂史	管理者	鴨川 春奈
所在地	長崎県西海市西海町木 場郷 547-3	電話番号	080-7981-1478

1. 総論

(1) 基本方針

施設・事業所等としての災害対策に関する基本方針を記載する。

本計画は、大地震等の自然災害や感染症のまん延などをはじめとした突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断せざるを得なくなった場合であっても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順などを示すものである。

(2) 推進体制

平常時の災害対策の推進体制を記載する。

主な役割	部署・役職	氏名	補足
統括責任	災害対策委員長	鴨川 春奈	
BCP の策定及び見直し	BCP 策定責任者	鴨川 春奈	正規職員で半年に 1 度見直しする
職員への研修・訓練の計画	研修・訓練責任者	鴨川 春奈	

(3) リスクの把握

① ハザードマップなどの確認

施設・事業所等が所在するハザードマップ等を用意する。

当事業所がある西海町木場郷は、土砂災害地域に該当しない。
送迎で通る所の災害マップを用意する。

② 被災想定

大きな被害が予想される災害について、自治体が公表する被災想定を整理して記載する。

【自治体公表の被災想定】

<項目例>

交通被害

道路：国道 202 号や県道 52 号の緊急輸送路を含む多数の箇所で浸水すると想定される。

がけ崩れによる通行遮断も懸念される。

橋梁：橋のひび割れ等による通行遮断も想定される。

ライフライン

上水：発生直後の断水人口は、 人、当日中に復旧すると想定される。

下水：市内約 1 割が被害を受け、復旧に 14 日程度とされる。

電気：市内全世帯が停電、復旧に 7～12 日程度要すると想定される。

ガス：LP ガスの供給支障はないと想定される。

通信：電話回線は 1,416,346 回線が不通になると想定される。

県内で固定、携帯電話とも 40～50%の発信規制が行われるが、比較的早く解除される。

【自施設で想定される影響】

自治体発表の被災想定から自施設の設備等を勘案のうえ記載する。また、時系列で整理することを推奨する。

	当日	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目
電力							復旧	⇒	⇒
E V									
飲料水	備蓄	備蓄							
生活用水	復旧	――	――	――	――	――	――	――	――→
ガス									
携帯電話		復旧	――	――	――	――	――	――	――→
メール		復旧	――	――	――	――	――	――	――→

（４）優先業務の選定

① 優先する事業

複数の事業を運営する施設・事業所等では、どの事業（入所、通所、訪問等）を優先するか（どの事業を縮小・休止するか）を法人本部とも連携して決めておく。

（４）研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

① 研修・訓練の実施

年 2 回実施が求められている消火訓練及び避難訓練に合わせて、年 2 回は火災訓練を実施する。

② BCPの検証・見直し

評価プロセス（BCP 委員会で協議し、責任者が承認するなど）や定期的に取り組の評価と改善を行うことを記載する。

災害対策委員会は、職員から業務継続計画（BCP）について改善すべき事項について意見を聞くこととし、その内容を災害対策委員会の議論に反映する。

2 平常時の対応

（１）建物・設備の安全対策

① 人が常駐する場所の耐震措置

② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
本棚	転倒防止対策	
消火器など	消火器等の設備点検	

※設備等に関しては、定期的な日常点検を実施する。

③ 水害対策

対象	対応策	備考
浸水による危険性の確認	毎月 1 回点検を実施。	
外壁のひび割れ、欠損、膨らみ	毎月 1 回点検を実施。	
暴風雨による危険性の確認	消防訓練	

被災時に移動させるべき設備と自家発電機もしくは代替策を記載する。

事業所が高い所にある為、水害による被害は考えにくい。

地震においては、避難できなかったという事がないよう、早めに避難所への避難を開始する。

(2) ガスが止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と代替策を記載する。

稼働させるべき設備	代替策
カセットコンロ	ガス缶、カセットコンロを使用しての湯を沸かして調理や洗い物の対応。
IH コンロ	IH コンロを使用しての調理。

(3) 水道が止まった場合の対策

被災時に必要となる飲料水および生活水の確保を記載する。

① 飲料水

水道が止まった場合は、短時間で復興する場合は、ストックしているペットボトルにて対応する。

基本、使用再開まで家庭での保育を前提とする。

② 生活用水

① 1人1日10Lの生活用水が必要なので、10L×10人分を用意する。

*貯水槽を活用する場合は容量を記載。ポリタンクを準備する場合は容量と本数を記載。

(4) 通信が滞った場合の対策

被災時に施設内で実際に使用できる方法(携帯メール)などについて、使用可能台数、バッテリー容量や使用方法等を記載する。

携帯電話1台／携帯メール／PCメール1台／SNS

① システムが停止した場合の対策

電力供給停止などによりサーバー等がダウンした場合の対策を記載する（手書きによる事務処理方法など）。

- ・ 浸水リスクが想定される場合はサーバーの設置場所を検討する。
- ・ データ類の喪失に備えて、バックアップ等の方策を記載する。

② 災害時にデータが紛失しないよう、日頃からデータをこまめに USB カードに

保存しておく。

② 衛生面（トイレ等）の対策

被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性があるため、衛生面に配慮し、トイレ・汚物対策を記載する。

トイレ対策

【利用者】

- ① トイレの便器にビニール袋を設置して、その中に新聞紙や尿取りパットを敷いて排泄をさせる。
- ② 1人排泄で使用するごとに袋を縛って、ごみ袋へ捨てる。

(5)必要品の備蓄

被災時に必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄する（多ければ別紙とし添付する）。定期的にリストの見直しを実施する。備蓄品によっては、消費期限があるため、メンテナンス担当者を決め、定期的買い替えるなどのメンテナンスを実施する。

【飲料・食品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
飲料水				
お茶				
お茶の葉パック				
主食				
副食				
菓子類				

【医薬品・衛生用品・日用品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
マスク				
ウェットタオル				
ウェットティッシュ				
除菌スプレー				
トイレットペーパー				

紙オムツ				
お箸・スプーン				
紙コップ・紙皿				
食品ラップ				
アイラップ				

【備品】

品名	数量	保管場所	メンテナンス担当
やかん			
鍋			
充電器			

【緊急時の対応】

① B C P 発動基準

地震の場合、水害の場合等に分けて BCP を発動する基準を記載する。

【地震による発動基準】

西海市に地震警報が出ている場合。

【水害による発動基準】

西海市に水害の警報が出ている場合。

【緊急時の対応】

また、管理者が不在の場合の代替者も決めておく。

管理者	代替者①	代替者②
鴨川春奈	岩崎俊耶	岩本千晴

② 対応体制、拠点

緊急時対応体制の拠点となる候補場所を記載する（安全かつ機能性の高い場所に設置する）。

第1候補場所	第2候補場所
なないろきつず事業所	西海スポーツガーデン体育館

③ 対応体制、拠点

緊急時対応体制の拠点となる候補場所を記載する（安全かつ機能性の高い場所に設置する）。

第1候補場所	第2候補場所
なないろきつず事業所	西海スポーツガーデン体育館

④ 安否確認

(1) 利用者の安否確認

震災発生時の利用者の安否確認方法を検討し、整理しておく（別紙で確認シートを作成）。

なお、負傷者がいる場合には応急処置を行い、必要な場合は速やかに医療機関へ搬送できるよう方法を記載する。

【安否確認ルール】

- ① 利用者に口頭にて確認する。
- ② 利用者家族に報告する。

【医療機関への搬送方法】

- ③ 負傷の程度が軽い場合は、西海救急クリニックへ連れていく。
- ④ 負傷の程度が重い場合は、西海救急クリニックへ連れて行く。
- ⑤ 負傷が軽い場合

(2) 職員の安否確認

地震発生時の職員の安否確認方法を複数検討し準備しておく（別紙で確認シートを作成）。

（例）携帯電話、携帯メール、PCメール、SNS等

【施設内】

- ① 直接口頭や携帯電話で確認する。
- ② 携帯メールにて確認する。
- ③ 災害伝言板に登録する。
- ④ 事業所や、避難場所に安否を確認する張り紙をし確認する。

【自宅等】

- ⑤ 携帯電話にて口頭で確認する。
- ⑥ 携帯メールにて確認する。
- ⑦ 災害伝言板にメッセージを送る。

(3)職員の参集基準

発災時の職員の参集基準を記載する。なお、自宅が被災した場合など参集しなくてもよい場合についても検討し、記載することが望ましい。

- ① 利用者の家庭が被災して利用の意向がある事。
- ② 職員の家庭、家族が被災していない事。
- ③ 道路が寸断されていない事。

【自動参集基準の対象外】

利用者の自宅、家族が被災している場合。
事業所までの道路が寸断されている場合。

施設内外での避難場所・避難方法

地震などで一時的に避難する施設内・施設外の場所を記載する。また、津波や水害などにより浸水の危険性がある場合に備えて、垂直避難の方策について検討しておく。

【施設内・外】

	第 1 避難場所	第 2 避難場所
避難場所	なないろきつず事業所	西海スポーツガーデン体育館

重要業務の継続

優先業務の継続方法を記載する（被災想定（ライフラインの有無など）と職員の出勤率と合わせて時系列で記載すると整理しやすい）。

経過目安	夜勤職員のみ	発生後 6 時間	発災後 1 日	発災後 3 日
職員数	出勤率 30%	出勤率 50%	出勤率 70%	出勤率 90%
	1 名	2 名	3 名	4 名
在庫量	100%	90%	70%	20%
ライフライン	停電、断水	停電、断水	停電、断水	断水
重要業務	生命を守るため必	医療的ケア・	ほぼ通常、一部	ほぼ通常

の基準	要最低限	食事中心、その他 は減少・休止	減少・休止	
医療的ケア	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	ほぼ通常
食事の回数	減少	減少	朝・昼・夕	ほぼ通常
食事支援	必要な方に支援	必要な方に支援	必要な方に支援	ほぼ通常
入浴支援	清拭	一部清拭	一部清拭	ほぼ通常
排泄支援	必要な方に支援	必要な方に支援	必要な方に支援	ほぼ通常
洗濯	使い捨て対応	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
シーツ交換	汚れた場合	順次、部分的に 交換	順次、部分的に 交換	ほぼ通常

職員の管理(ケア)

① 休憩・宿泊場所

震災発生後、職員が長期間帰宅できない状況も考えられるため、候補場所を検討し、指定しておく。

休憩場所	宿泊場所
なないろきつず事業所(相談室)	なないろきつず事業所相談室
なないろきつずプレイルーム	なないろきつずプレイルーム

② 勤務シフト

震災発生後、職員が長期間帰宅できず、長時間勤務となる可能性がある。参集した職員の人数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むよう災害時の勤務シフト原則を検討しておく。

③ 職員は、4日勤務1日休みとする。

④ 業務から離れてしっかり休息が取れるよう別室(相談室)にて休息を取る。

復旧対応

① 破損個所の確認

復旧作業が円滑に進むように施設の破損個所確認シートを整備し、別紙として添付しておく。

<建物・設備の被害点検シート>

	対象	状況 (いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	

② 業者連絡先一覧の整備

円滑に復旧作業を依頼できるよう各種業者連絡先一覧を準備しておく。

業者名	連絡先	業務内容
楠本設備	090-3191-9788	水道
吉田建築	090-8918-9728	建築関係
大浦電気工業株式会社	0956-31-6306	電気設備関係
九州電力	0120-761-371	電気送電関係

③ 情報発信（関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）

公表のタイミング、範囲、内容、方法についてあらかじめ方針を定めて記載する。

- ① 災害により、事業所が業務をできないくらいの被害を受けていたり、利用者や職員が大けがや死亡があった場合は、行政機関へ連絡する。
- ② マスコミへは、文書にて発表する。

① 地域のネットワーク等の構築・参画

施設・事業所等の倒壊や多数の職員の被災等、単独での事業継続が困難な事態を想定して、施設・事業所等を取り巻く関係各位と協力関係を日ごろから構築しておく。地域で相互に支援しあうネットワークが構築されている場合はそれらに加入することを検討する。

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容
特定非営利法人長崎学舎本部	0956-80-3802	職員の体制の協力
(株)クボタ	0959-32-0447	施設の安全確認

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
大島ながたクリニック	0959-23-0777	利用者、職員の病気・怪我の相談
西海救急クリニック	0959-23-0301	利用者、職員の病気・怪我の相談
たいら医院	0959-32-2011	利用者、職員の病気・怪我の相談

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
西海市役所 福祉課	0959-37-0069	利用者についての相談
相談支援事業所 陽だまり	0959-29-7110	利用者に関する相談

② 利用者情報の整理

避難先施設でも適切なケアを受けることができるよう、最低限必要な利用者情報を「利用者カード」などに、あらかじめまとめておく。

③ 共同訓練

連携先と年に1回以上、合同で避難訓練を実施する。

【様式①】施設・設備の点検リスト

場所/対象	対応策	備考
建物（柱）	柱の補強/X型補強材の設置	旧耐震基準設計のもの
建物（壁）	柱の補強/X型補強材の設置	旧耐震基準設計のもの
パソコン	耐震キャビネット（固定）の採用	
キャビネット	ボルトなどによる固定 耐震棒、滑り止めにより固定	
本棚	ボルトなどによる固定	
金庫	ボルトなどによる固定	
浸水による危険性の確認	毎月 1 日に設備担当による点検を実施。	
外壁にひび割れ、欠損、膨らみはないか	同上	
開口部の防水扉が正常に開閉できるか	同上	
暴風による危険性の確認	特に対応せず	3 月までに一斉点検実施
外壁の留め金具に錆や緩みはないか	2 ヶ月に一度、正規職員による点検を実施。	
屋根材や留め金具にひびや錆はないか	2 ヶ月に一度、正規職員による点検を実施。	
窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付しているか	飛散防止フィルムを貼る	
周囲に倒れそうな樹木や飛散しそうな物はないか	毎月 1 日に正規職員による点検を実施。	

【様式②】 備蓄品リスト

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当

【様式③】 利用者の安否確認シート

[illegible]

※利用者の容態・状況には、アレルギーの有無（アレルギー情報）もあらかじめ把握しておくことよ。

【様式④】 職員の安否確認シート

[illegible]

【様式⑤】 建物・設備の被害点検シート

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	電気	通電　／　不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	トイレ	利用可能／利用不可	
(フロア単位) 建物・設備	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	
	ガラス	破損・落下あり／被害なし	

【様式⑥】連絡先リスト

氏名	所属先	電話番号	電話番号 2	備考